

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321076	こどもの健康 I Health of child I	加藤彰浩			1	選択	2前期
科目の概要							
<p>幼児期の子どもは身体の発育が著しく、運動の発達や動作の習得も著しいため、この時期の運動経験が続く児童期および青年期における心身の成長や運動の発達に大きな影響をもたらす。そのため、幼児期に行われる運動は適時期に適切な方法によって行うことにより子どもの成長を促すことから、発育・発達における保育者および教育者の果たす役割は大きい。</p> <p>この授業では、発育発達段階にある幼児期における心身の成長および運動能力の発達について理論的に学び、さらに保育者および教育者として必要な運動遊びの援助方法や留意点、運動能力の測定方法を演習を通して実際に体験しながら学び、運動遊びにおける支援および教育的技術について学ぶ（DP2）。</p>							
学修内容				到達目標			
<p>① 幼児期の心や身体発達の発達について学ぶ。</p> <p>② 幼児期の発育発達段階に応じた「運動遊び」の方法を学ぶ。</p> <p>③ 幼児期の「運動遊び」における効果的な支援や指導方法について学ぶ。</p>				<p>① 幼児期の心や身体発達の発達を理解することが出来る。</p> <p>② 幼児期の発育発達段階に応じた「運動遊び」の教材を理解することが出来る。</p> <p>③ 幼児期の「運動遊び」における効果的な支援や指導が出来る。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	毎回のテーマに関する方法や技術について、事前に資料をもとに調べてくる。睡眠、食事等生活リズムを整え、自ら積極的に授業に参加する。					
	働きかけ力						
	実行力	毎回のテーマに関する方法や技術について、事前に資料以外をもとに調べてくる。未経験なことや不得意なことに対し、積極的に取り組み、試行錯誤の過程を経ながら取り組むことが出来る。					
考え抜く力	課題発見力	様々なことへ取り組む過程において、各遊びのポイントや留意点、支援方法について積極的に考え、気づく事が出来る。					
	計画力						
	創造力	各遊びの要素やポイントから、実際の支援・教育場面を想定して、考えることが出来る。					
チームで働く力	発信力	授業における疑問や新たな視点に対して積極的に発言し、疑問を解決する。					
	傾聴力	他者の考えや意見を聞き、様々な考えや意見があることを理解する。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	毎回の提出物を期日までに提出する。時間やルールを守り、他の学習者に迷惑をかけないように授業に参加する事が出来る。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
<p>テキスト：「幼児期における運動発達と運動遊びの指導 遊びの中で子どもは育つ」杉原隆ほか（ミネルヴァ書房）</p> <p>その他：資料を適宜配布する。映像等はGoogle Classroomを通じて行う。</p> <p>参考文献：「幼児期運動指針実践ガイド」日本発育発達学会編（杏林書院）</p>							
他科目との関連、資格との関連							
<p>本科目は、学科専門科目の幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目に属しており、「保育内容（健康）」で学んだ内容をもとに、保育内容（健康）の指導方法を実技や演習を通して学ぶ科目です。また、「こどもの健康Ⅱ」では扱わない内容を学ぶ。</p> <p>関連資格：保育士、幼稚園教諭</p>							
学修上の助言				受講生とのルール			
常に子ども達のを指導する立場になって考えながら授業を受けることにより、保育者および教育者になった時に役に立つ子どものつまづきや効果的な支援方法を学ぶ事が出来る。				運動を行うのに危険ではない服装、爪、頭髪、アクセサリで受講し、授業に遅刻しない等社会人として相応しい振る舞いをする事。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		60	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			30	①			
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発育発達段階を考慮した「運動遊び」の指導ができること。 ・「運動遊び」の各内容の留意点を考慮した支援が出来ること。 ・他者の運動を観察し、良い点、改善点がわかり、他者に伝え、一緒に考えることが出来ること。 <p>Sは上記3つ全てできる Aは上記のうち2つできる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発育発達段階を考慮した「運動遊び」の指導ポイントを説明できる。 ・「運動遊び」の各内容の留意点を説明することができる。 ・他者の運動を観察し、良い点、改善点をわかることができる。 <p>Bは上記3つ全てできる Cは上記のうち2つできる</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション ○幼児体育の意義および役割を考える	講義（教室）	受講に相応しい態度で授業に臨み、幼児体育の意義と役割を理解している。	（予習）幼児体育の意義および役について、テキストp. 85-105を読んてくる。 （復習）幼児における運動の効果をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力
2	○「幼児体育の指導内容および指導上留意事項」について学ぶ。	講義（教室）	幼児体育の指導内容および留意点について理解している。	（予習）幼児体育の内容について、テキストp. 106-126を読んてくる。 （復習）幼児体育の指導内容および留意点をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力
3	○「幼児の運動能力テスト」を体験しながら方法について学ぶ。	演習（体育館）	幼児の運動能力の測定方法を理解している。	（予習）幼児の運動能力テストの内容について、テキストp. 171-204を読んてくる。 （復習）幼児の運動能力の測定方法を復習する。	90	課題 発見力 創造力 発信力
4	○器械・器具を使つての運動遊び 「マットを使つた運動遊び」の知識・技術を身につける。	演習（幼児体育室）	マットを使つた運動遊びの指導内容および要点を理解している。	（予習）マットを使つた運動遊びの内容を調べる。 （復習）マットを使つた運動遊びの要点をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力
5	○器械・器具を使つての運動遊び 「跳び箱を使つた運動遊び」の知識・技術を身につける。	演習（幼児体育室）	跳び箱を使つた運動遊びの指導内容および要点を理解している。	（予習）跳び箱を使つた運動遊びの内容を調べる。 （復習）跳び箱を使つた運動遊びの要点をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力
6	○器械・器具を使つての運動遊び 「鉄棒を使つた運動遊び」の知識・技術を身につける。	演習（幼児体育室）	鉄棒を使つた運動遊びの指導内容および要点を理解している。	（予習）鉄棒を使つた運動遊びの内容を調べる。 （復習）鉄棒を使つた運動遊びの要点をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力
7	○からだを使つた運動遊び 「鬼ごっこ」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	走る運動（鬼ごっこ）の指導内容および要点を理解している。	（予習）鬼ごっこの内容を調べる。 （復習）鬼ごっこの要点をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力
8	○からだを使つた運動遊び 「走る」「リレー」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	走る、跳ぶ運動の指導内容および要点を理解している。	（予習）走るポイントやリレーの方法を調べる。 （復習）走る遊び、リレーの要点をまとめる。	90	課題 発見力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○からだを使った運動遊び 「跳ぶ」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	跳ぶ運動の指導内容および要点を理解している。	（予習）跳ぶ遊びの内容を調べる。 （復習）跳ぶ遊びの要点をまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力
10	○用具を使った運動遊び 「フラフープ」の知識・技術を身につける。 ○平均台を使った遊び 「平均台歩き」や「陣取り」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	フラフープ・平均台を用いた運動の指導内容および要点を理解している。	（予習）フラフープ・平均台を使った遊びの内容を調べる。 （復習）フラフープ・平均台を使った遊びの要点をまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力
11	○体づくり運動 「体の動きを高める運動」の知識・技術を身につける。 「コーディネーション運動」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	体づくり運動、コーディネーション運動の指導内容および要点を理解している。	（予習）体づくり運動、コーディネーション運動の内容を調べる。 （復習）体づくり運動、コーディネーション運動の要点をまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力
12	○ボールを使った遊び 「ボール投げ」や「ドッチボール」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	ボールを使った遊びの指導内容および要点を理解している。	（予習）ボールを使った遊びの内容を調べる。 （復習）ボールを使った運動の要点をまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力
13	○なわとびを使った遊び 「なわ遊び」や「一人縄跳び」の知識・技術を身につける	演習（体育館）	なわ遊びの指導内容および要点を理解している。	（予習）なわ遊びの内容を調べる。 （復習）なわ遊びの要点をまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力
14	○なわとびを使った遊び 「長縄跳び」の知識・技術を身につける。	演習（体育館）	なわとびの指導内容および要点を理解している。	（予習）長縄跳びの内容を調べる。 （復習）長縄跳びの要点をまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力
15	○これまでの授業の振り返り	オンデマンド	これまでの授業内容を理解し、要点をまとめることができる	（予習）運動に関する動画を準備する。 （復習）動画を視聴し、ポイントをまとめる。	90	課題発見力 創造力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322077	こどもの健康Ⅱ Children's healthⅡ	黒谷万美子		専門	1	選択	2後期
科目の概要							
この科目はDP2.3に記載されている子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。教諭・保育者は、何のために(目的・目標)、何を(内容)、どのように(方法)教えるべきか、子どもたちに直接の責任を負っている。子どもたちが生涯にわたって健康で、安全で幸福な生活を送るために私たちは何をすべきか、子どもの健康や発達について理解し、健全な発育を促す具体的な支援方法について学習する。小児保健や学校保健を踏まえ健康教育を展開するうえでの基本的な知識を修得するとともに、必要な実践力の基礎を身につける。							
学修内容				到達目標			
① 子どもの健康をめぐる現状について知り、課題点を学修する。 ② 子どもの心身の発達について学修する。 ③ 子どもの健康支援の方法、内容について学修する。 ④ 健康教育の方法、内容について学修する。 ⑤ 子どもの健康な心と、体を育てるために必要な教諭・保育者の役割、組織活動の内容と連携について学修する。				① 子どもの、健康をめぐる現状と課題を理解し説明することができる。 ② 子どもの心身の発達について理解し説明することができる。 ③ 子どもの健康支援の方法や内容について理解し指導案を立案することができる。 ④ 健康教育の方法、内容について理解し指導案をもとに教育を行うことができる。 ⑤ 子どもの健康な心と、体を育てるために必要な教諭・保育者の役割、組織活動の内容と連携について理解し諸問題に対する解決策や対処法を提案することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	自分の役割を明確にして課題に取り組むことができる					
	働きかけ力						
	実行力	それぞれの育児教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに発表することができる					
考え抜く力	課題発見力	グループの課題を明らかにしグループワークを進めることができる					
	計画力						
	創造力	発表に向けて、自分達のテーマに合わせた効果的な媒体作成をおこなうことができる					
チームで働く力	発信力	教育計画に基づき分かりやすく発表するとともに、対象を理解して伝えることができる					
	傾聴力	グループワークや発表時、内容確認や質問を行い正確に理解するとともに話しやすい状況をつくることことができる					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	グループワークにおいてグループのルールや約束を守りメンバーのサポートができる					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：特に指定しない。参考資料：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領／その他毎回、授業課題と資料を配布する。 参考文献：子どもの保健							
他科目との関連、資格との関連							
多科目との関連：「子どもの健康Ⅱ」は学科専門科目「保育の内容・方法に関する科目」として設定されており、「子どもの健康Ⅰ」で獲得した知識・技術を活用する。その後に履修する「子育て支援」「こどもと環境」の基礎となる科目である。 資格との関連：保育士・幼稚園教諭							
学修上の助言				受講生とのルール			
子どもの保健と保育内容(健康)、こどもの健康Ⅰの十分な理解が必要である。復習をしながら、こどもの健康Ⅱに取り組むこと。				・授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する ・配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく ・積極的なグループワーク、発表準備を行う <注意>出席・授業態度では、10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	小テスト	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	レポート	50	①	✓		○問題を適切にとらえて、それに対し自らの意見を主張できているか。 ○重要なポイントを押さえているか。 ・子どもの健康をめぐる現状と課題 ・子どもの心身の発達について ・子どもの健康支援の方法・内容 ・健康教育の方法・内容 ・教員や保育者の役割 ・組織活動の内容と連携など ○毎回のレポート課題に対する自分なりの意見を述べられているか。 ○前回のレポート内容（一部抜粋）の中から印象に残った意見について自分なりの意見が述べられているか。 知識の活用(子どもの心身の発達について理解し説明する):50% 知識の獲得(子どもの健康支援の方法や内容について理解し指導案を立案する):30% 課題解決(教諭・保育者の役割、組織活動の内容と連携について理解し諸問題に対する解決策や対処法を提案する):20%
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	○指導案の構成を理解し、具体的な場面を想定した指導案を作成することができたか。 ○健康教育とその振り返りを通して、健康支援をする視点を身に付けたか。 知識の活用(子どもの心身の発達について理解し説明する):50% 知識の獲得(健康教育の方法、内容について理解し指導案をもとに教育を行う):30% 課題解決(教諭・保育者の役割、組織活動の内容と連携について理解し諸問題に対する解決策や対処法を提案する):20%		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性)自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。 (発信力)課題に向けて積極的に取り組み、粘り強く取り組み続けることができる。 (課題発見力)講義での提示を受け、今、何が課題であるのか、またその解決に向けて現段階でなすべきことを的確に把握することができる。 (創造力)子どもたちと接するにあたり、課題に向けてどのように取り組んでいくか、創意工夫した解決策を考察することができる。 (発信力)事例や客観的データ等を用いて、具体的にわかり易く課題解決の方向性を発信することができる。 (傾聴力)内容の確認や質問等を行いながら、講義での提示を正確に理解することができる。 (規律性)受講態度（学習意欲欠如、私語、課題やその他の提出物の未提出、など）が見られる場合は減点する。		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤	✓			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
達成目標①から⑥について実践できるとともに健康教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価において全て満足できる評価が得られる。つまり健康支援活動がすぐ実践できる能力に達していることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。	達成目標①から⑥について実践できるとともに健康教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価においてある程度満足できる評価が得られる。つまり健康支援活動について一定の指導・研修後実践できる能力に達していることが基準となる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業ガイダンス:授業の目的と内容についての確認	・講義(ガイダンス)	授業の目的とグループワークについて理解することができる。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第1章) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	子どもの心身の発達と健康① 乳幼児期の心身の発達と健康課題を理解する	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	乳幼児期の心身の発達と健康課題を理解することができる。実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第2章1.2) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	子どもの心身の発達と健康② 学童期の心身の発達と健康課題を理解する	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート提出(google classroom)	学童期の心身の発達と健康課題を理解することができる。実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第2章3.4) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する オンライン資料:こどものロコモ(https://juntendo-kinkatsu.com/)	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	子どもの心身の発達と健康③ 青年期からの心身の発達と健康課題を理解する	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	青年期の心身の発達と健康課題を理解することができる。実習時におけるケアの課題を見つけることができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第3章) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	疾病管理と感染症予防 子どもに多い疾病と感染症について学び、その予防方法について理解する	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・小テスト(google forms を利用しフィードバック)	子どもに多い疾病と感染症について学び、その予防方法について理解することができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第4章) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	疾病予防と健康増進活動 健康診断・健康観察・健康教育等の健康支援についてその意義と目的、内容や留意点について理解する	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	健康診断・健康観察・健康教育等の健康支援についてその意義と目的、内容や留意点について理解することができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第5章) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	子どもの生活習慣の現状と課題 食事・睡眠・運動・遊び(余暇活動)の現状から課題を理解する	グループワーク グループ発表	それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。媒体作成、実技練習を行う。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(第6章1.2) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	子どもの生活習慣改善への取り組み 教諭・保育者の役割と家庭との連携を理解する	グループワーク グループ発表 レポート提出(google classroom)	それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。媒体作成、実技練習を行う。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習:教科書、ワークシートにて確認(意6章3.4) 復習:ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	健康教育① 方法・内容について理解し子どもの健康問題に対する健康教育計画を立案する	グループワーク グループ発表	それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。媒体作成、実技練習を行う。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第6章5.6) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	健康教育② グループ別に様々な健康問題に対する健康教育の実践を行う	グループワーク グループ発表 小テスト(google formsを利用しフィードバック)	それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。媒体作成、実技練習を行う。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第7章) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	環境保健 環境と健康の関連性について理解し、環境衛生について考える	グループワーク グループ発表	それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。媒体作成、実技練習を行う。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第8章) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	子どもの精神保健 子どもの心の問題の内容を理解し、対応にあたっての留意点や連携について学ぶ	グループワーク グループ発表	それぞれの教育テーマについて知識・技術を確認し、グループごとに自分の役割を果たすことができる。媒体作成、実技練習を行う。自分の役割を明確にして課題に取り組み、メンバーのサポートができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第9章) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	保健活動組織と関係機関との連携 組織活動の必要性、関連機関との連携について理解する	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)・レポート提出(google classroom)	組織活動の必要性、関連機関との連携について理解することができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第10章) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	支援者としての資質 自らの健康状態や生活習慣を振り返り、心身の健康保持増進について考える	・講義・DVD視聴・ポイント解説(Q&A)	自らの健康状態や生活習慣を振り返り、心身の健康保持増進について考えることができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第11章) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ 現代の健康課題に対する解決・支援方法の検討	オンデマンド配信	現代の健康課題に対する解決・支援方法について理解することができる。	予習：教科書、ワークシートにて確認(第12章) 復習：ワークシートにて不十分な項目について再度確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力